

私たちの生活がもたらす 生物多様性異変と気候変動

日時：**6月3日（土）15:30~17:00**（開場 15:00）

場所：一関保健センター1階 多目的ホール

（一関市山目字前田13-1） 定員 150名 入場無料



講師：国立環境研究所 生物多様性領域

生態リスク評価
・対策研究室長

こ か こういち
五箇 公一氏

1965年1月 神奈川県生まれ、富山県育ち
1990年3月 京都大学農学研究科 修了
4月 宇部興産（株）農薬研究部
1996年3月 京都大学博士（農学）
12月 国立環境研究所 入所
2021年度より現職、**テレビ出演多数**



今、地球上で進行している生物多様性減少の根本原因は人間という生物が爆発的に増加し、地球上のエネルギーの大部分を独占し、土地利用や気候を変化させていることにあります。本来、地球上の生物は、生態系というシステムの中で物質循環を行い、その生息数のバランスをとってきました。

そこから逸脱した生活を人間が送るようになったことから、生態系に大きな負荷が加わるようになり、生物の生息環境の悪化を招いています。生物多様性の減少は、私たち一人一人の生活様式と密接に結びついた問題といえるのです。



骨寺村荘園遺跡



新緑が芽吹く春の山里

★配布資料準備の都合上、下記主催者まで参加申込みをお願いいたします。

*なお、いただいた個人情報は主催者が開催する事業にのみ使用させていただきます。

主催：一関地球温暖化対策地域協議会（IEL）

共催：久保川イーハトーブ自然再生協議会、NPO法人 須川の自然を考える会

後援：弓手川結いネットワーク、NPO法人 里山自然学校 はずみの里、NPO法人 北上川サポート協会
岩手日報社、岩手日日新聞社、ICN一関ケーブルネットワーク

【申込み・問合せ先】 IEL事務局（一関市 市民環境部 生活環境課 環境企画係）
（E-mail: seikan@city.ichinoseki.iwate.jp 電話：21-8331）

※E-mailで申し込む場合は、住所・氏名・電話番号を明記してください。